沖縄環境調和型まちづくり研究会について（産業クラスター計画）

Point

経済産業部は、OKINAWA型産業振興プロジェクトを推進しています。本プロジェクトでは、環境ビジネスの持続的な発展に向けた重層的なネットワークを形成するため、環境調和型の街づくりをテーマとする研究会を設置しました。

研究会の背景と目的

沖縄における環境関連産業振興の基本計画である「ゼロエミッション・アイランド沖縄構想」では、「環境関連ビジネスの企業化の促進と資源の地域内循環の推進」を掲げており、具体的には、①環境産業クラスター形成の促進、②資源循環型農業等の推進、③建設廃材のリサイクル及び廃棄物の建設資材化の推進、④島嶼型資源循環システムの構築、⑤複合・集中的なリサイクル・廃棄物処理施設の整備の必要性等を示しています。

しかし現実は、管理型最終処分場の逼迫等の諸課題を抱え、今後、製造産業に対し、大きな影響を及ぼす可能性が指摘される等、環境保全に関する取組は遅れています。これは、各省庁や自治体、企業等団体の取組がそれぞれ独自のベクトルとして展開されていることが原因の一つとして考えられます。

そこで本研究会では、国や自治体、大学や企業等が一堂に会し、環境負荷低減に関する取組について情報交流を図ります。これにより、沖縄の環境保全を効果的に進めるための方策を探ると共に、環境ビジネスの持続的な発展に向けた重層的なネットワークを形成し、各団体の主体的な取組を加速化することで、島嶼完結型の循環システムの確立を目指します。

第一回研究会開催

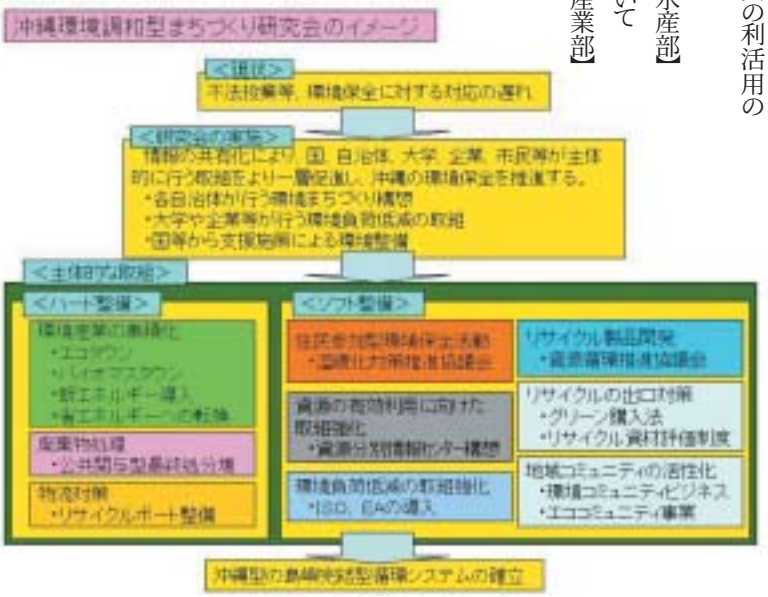
十月十二日の第一回研究会（委員長　池田孝之　琉球大学工学部教授）が開催され、以下のテーマで情報交流が図られました。今後、企業、自治体等、多くの方々の積極的な参加を呼びかけていきます。

①環金武湾地域における環境調和型まちづくり構想について【金武湾開発推進連絡協議会（うるま市）】

②ハイドロカルチャーなど屋上緑化に係る取組について【㈱トリム】

③レンタル自転車事業の取組【NPOしまづくりネット】

④沖縄におけるバイオマスの利活用の促進について【沖縄総合事務局農林水産部】

⑤バイオマスエネルギーについて【沖縄総合事務局経済産業部】

質疑では、①各省庁における施策（バイオマスタウン、エコタウン、リサイクルポート等）と自治体の街づくり構想との連携や、②地域連携（都市部と農村部）の必要性、③街づくり構想の具体化へ向けた実証試験等の施策展開の重要性、④国内外の先進事例の報告を提案する等の意見が交わされました。